



Nagoya Noh Theater

名古屋能楽堂

七月定例公演

能 狂言

「通小町」(宝生流)
シテ 衣斐 愛
「太刀奪」(和泉流)
シテ 奥津健太郎



徳川家康と能・狂言

後の「徳川御三家」が共演！ 慶長十九年（1614）四月十四日 駿府城
大御所時代に家康の住まいとなつた駿府城では、私的な能樂が盛んでした。
この日は歌人の冷泉為満らをもてなすため、「通小町」のシテを後に紀州藩主となる十男頼宣（当時は駿府藩主）が
つとめました。尾張藩主である九男義直も能「井筒」の小鼓を打っています。

令和5年
7月2日(日) 14:00開演(13:00開場)

4月21日(金)より
前売券発売

指定席 3,200円
自由席(一般) 2,200円
自由席(学生) 1,000円

『公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3』参加事業

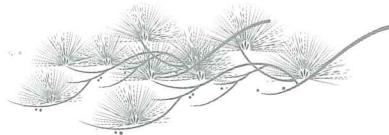
助成:

文化庁文化芸術振興費補助金
(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2))
独立行政法人日本芸術文化振興会

名古屋能楽堂 七月定例公演

<レクチャー公演>

*七月定例公演は「レクチャー公演」として通常の定例公演に比べ料金が、解説付きとなっています。



◆【能通小町】
（午後四時半頃終演予定）

◆【イヤホン・ガイド】
日本語／伊藤 利香（名古屋能楽堂イヤホンガイド）
英語／藤江さおり（通訳ガイド）

●都合により出演者が変更となる場合があります。
あらかじめご了承下さい。

地謡
石内森野
平竹田
正孝智文
成幸健

後見
内藤水東川
和久莊衣斐
飛太能郎
尚優史

能通小町（宝生流）
『通小町』について
和久莊太郎
シテ
ツレ
ワキ
深草少将
小野小町
山居の僧
笛
小鼓
大鼓
竹市
後藤嘉津幸
河村眞之介
衣斐葛野
松浦橋本
正宜りさ愛
和久莊衣斐
飛太能郎
尚優史

狂言 太刀奪（和泉流）
シテ 太郎冠者
アド 主人
アド 使いの者
後見 野村又三郎
奥津健太郎
伊藤信朗
野村泰郎

◆ レクチャー狂言解説・午後一時から十五分
『太刀奪』について 野村又三郎

番組

◆ レクチャー狂言解説・午後一時から十五分
『太刀奪』について 野村又三郎

八瀬の山里で一夏の修行をしている僧（ワキ）の元に、毎日木の実や薪を届ける女性（ツレ）がありました。僧が女性に持参した木の実の数々のことを尋ね、女性の名前を問います。女性は自分のことを市原野辺に住む姥であると答えて姿を消します。

僧は、かつて市原野で小町の詠んだ和歌を聞いた人の話を思い出し、この女性は小野小町の幽霊であると確信し、市原野辺に赴きます。小町の跡を弔つていると、先ほどの女性、小野小町の幽霊が再び姿を現します。小町は弔いに感謝し、仏戒を授かるうえですが、それを妨げる声が聞こえます。声の主は怒ろしい姿形をした深草少将の怨靈（シテ）。姿を現したと思えば小町の側に寄り、引き留めるように袂を取り、二人とも涙にくれます。

僧は、少将と小町に「百夜通い」の様子を語ることを請います。少将は小町から、百日間通り詰めたら恋心を叶えると言われたため、それを真に受け、雨の日も風の日も通り続けたことを物語ります。

少将の怨靈（シテ）。姿を現したと思えば小町の側に寄り、引き留めるように袂を取り、二人とも涙にくれます。その行いがあり、小町と少将は生前の罪を減して成仏することができたのでした。

曲の序盤、ツレが木の実の数々を語る箇所は「木の実の段」と言われます。椎の実から始まり、柿の実、笹栗、梅、桃、梨などが並びます。謡の文句に言葉遊びのよくなな面白さがあります。そして幾度も出てくる「椎」が深草少将の別名「四位の少将」に引っかけているようにも思えます。

百夜通い再現の場面は、シテ、ツレ、地謡の掛け合いで進みます。少将が小町に翻弄されながらも懸命に通り続ける様子を、謡にしてはリアリティーの高い詞で表現しています。それに合わせて動くシテは、大きな黒頭を被り、瘦男の面をかけ、お世辞にもスマートな格好ではありません。最終的に思いを遂げられなかつた少将の哀れさとも恐ろしさとも違つた何かが見えてくる曲です。不完全に思える曲の構成が、かえつてこの曲の魅力になつてゐるかもしません。

（衣斐 愛）

◇能解説「通小町」（かよいこまち）

参詣に出掛けた主人と召使い（太郎冠者）は、道中良い太刀を持つた男を見付けて奪おうと企てます。召使いははそと近づき男の太刀に手を伸ばしますが、気付いた男に太刀で脅されて、逆に主人の刀を取られてしまう始末です。刀を取り戻そうと待ち伏せし男を捕えたまでは良かったのですが…。

諺にある通称「泥縄」を具現化した演目でもあり、三者三様の動きが笑いを誘います。ここ一番という肝心な場面で間の抜けた対応をする家来ですが、真剣ゆえどこか憎めない愛嬌が滲み出ていて朗らかな空気をも醸し出します。

（井上松次郎）

七月定例公演事前学習講座
6月10日(土) 14:00~15:30

受講チケット 500円

◆能「通小町」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。
※事前学習講座のチケットは、名古屋市文化振興事業団の管理する文化施設窓口にて取り扱いをしております。

チケット料金(税込み)		*前売券発売日 令和5年4月21日(金)	
指 定 Reserve	自由 Non reserved	一般 Adult	学生 Student under 25 years old
前 售 Advance sale	3,200円	2,200円	1,000円

*学生券は25歳以下を対象とします。*未就学児のご入場はお断りいたします。

*チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。

*事業団友会員・障がい者手帳等をお持ちの方（付添者1名含む）は300円引きです。（前売りのみ。学生券の割引はありません。）

（名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ。各割引の併用はできません。）

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂 / TEL.052-231-0088

*前売券発売日当日は、お電話がつながりにくいことがあります。

名古屋市文化振興事業団チケットガイド / TEL.052-249-9387

（平日9:00～17:00 / チケット・郵送可）

名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口へ土日祝日も営業）でもお求めいただけます。

（工事休館などがありますので、ホームページをご確認ください。）

チケットぴあ / Pコード518-489

*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも割引きします。（名古屋能楽堂取扱いのみ）

Discount is available by showing passport or other proof of foreign nationality. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ / 名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756



【ご来場の皆さまへのお願い】

◎本公演は名古屋市の「文化施設における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき実施いたします。ご理解・ご協力をお願いいたします。

公演についての最新の情報は
名古屋能楽堂ホームページをご覧ください。

<https://www.bunka758.or.jp/facility/nougakudo/>

